

つながる

平成24年3月

大阪自閉症協会

〒532-0023 大阪市淀川区十三東 2-5-15-403

Tel 06-4862-4144 Fax 06-4862-4158

Email / jas-os@nifty.com

<http://www.sp-nagare.com/autism-osaka/>

4月8日 大阪で

世界自閉症啓発デー 啓発ウォーキングを実施!!

会員の皆さまの参加をお待ちしております。

毎年4月2日は、国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。

4月2日から4月8日までを発達障害啓発週間として、東京はじめ各地で、啓発活動が行われます。

今年は、大阪自閉症協会でも、大阪にて「啓発ウォーキング」を実施します。

広く世間の人々に、自閉症を知ってもらい、理解してもらうために、ぜひ啓発ウォーキングにご参加ください。



世界自閉症啓発デー2012 啓発ウォーキング

「大阪から共に支え合い、共に生きる」

日時 平成24年4月8日(日) 10:00～12:00

集合 大阪府庁パスポート前広場 (9:30受付開始)

コース 大阪府庁パスポート前～大阪市役所周辺

参加費 無料

申込み 所属、電話番号 お名前 (ふりがな)、職名／職種を明記のうえ、FAXまたは郵送で大阪自閉症協会へ送ってください。

締切 4月5日(木)必着

後援 大阪府、大阪市、大阪市教育局、日本自閉症協会、

お問い合わせ／申込先

大阪自閉症協会 〒532-0023 大阪市淀川区十三東 2-5-15-403

Tel 06-4862-4144 Fax 06-4862-4158

♪まだまだある、自閉症啓発週間イベントを紹介します♪

★世界自閉症啓発デーの4月2日には、通天閣がブルーにライトアップ！

4月2日、日没より、世界自閉症啓発デーライトアップ IN JAPAN2012 に賛同協力いただいて、『通天閣』がブルーにライトアップされます。

4月2日には世界48か国、2000か所の施設が、自閉症応援の青い光のリレーをつなげます。

関西では、兵庫大仏、明石海峡大橋、神戸ポートタワーなどもブルーにライトアップされます。東京では、東京タワーも青く光ります。

★発達障害啓発週間2012 JDDネット大阪企画！！

大阪府人権啓発ドラマ「アイムヒア 僕はここにいる」上映 &

トークセッション「発達障害のある人の就労を考える」

日 時 : 4月7日(土) 13:30～16:30 (13:15 受付開始)

会 場 : ドーンセンター5階視聴覚スタジオ

(京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。)

プログラム : 13:30 開会挨拶

13:40 「アイムヒア 僕はここにいる」上映開始

企画作成／大阪府教育委員会

製作協力(財)大阪府人権協会

出演／杉浦太陽 こだま愛

14:40 休憩

15:00 トークセッション「発達障害のある人の就労を考える」

話し手 金塚たかし氏(NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワークJSN総括所長)

辻 薫氏(社団法人大阪府作業療法士会発達部門代表)

奥脇 学氏(有限会社奥進システム代表取締役)

16:20 閉会挨拶

16:30 終了

参加費 : 一般1000円 JDDネット会員500円 (当日会場にて支払い)

定 員 : 80名(申込先着順)

申込み : ※氏名、連絡先、所属団体(大阪自閉症協会)を明記のうえ、下記申込先にFAXまたはメールにて申し込む。

※参加希望者の名前は、すべて記入すること。

※受け付け後、受付番号が連絡先に送られてくる(携帯メールの方は、PCメールを受信可能にしておく)。

※申し込みして1週間以上、連絡がない場合は、問い合わせをする。

主 催 : 日本発達障害ネットワーク大阪(JDDネット大阪)

後 援 : 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)

問合せ先 : 日本発達障害ネットワーク大阪(JDDネット大阪)

E-mail jddnet@osaka.zaq.jp FAX 072-228-2060

自閉症児の今後療育を充実させる実態調査の報告

昨年 11 月、自閉症児の今後の療育を充実させる実態調査を実施いたしました。アンケートにご協力いただきました皆さま、まことにありがとうございました。

平成 24 年度から児童福祉法が改正されることにより、療育、相談などのサービスが都道府県、政令都市から地域の市町村へ移行されます。この事態を受けて、大阪自閉症協会は昨年 10 月に大阪府 43 市町村へ、今までの大阪府療育 6 か所を療育、相談、ブランチ化の支援を受けていただくよう、大阪府発達障害団体ネットワーク会の一員として要望書を提出いたしました。

要望書提出の際に、療育について、ニーズは高いけれど本当に将来に役立ったかという追跡調査がなされておらず、その療育の重要性を市町村に説明するのに、説得力を欠き、要望理解への困難を感じました。

大阪自閉症協会としては、大阪府が療育する前に、協会独自で療育事業を支援した経緯もあり、大阪自閉症協会で療育をうけた方は成人になっておられます。成人の追跡調査も可能です。

そこで実際に、療育について、今現在療育を受けられている方、療育を終えられた方の状況を知るためのアンケートを正会員の皆さまに実施させていただいた次第です。

将来、自閉症児者が安定した生活を送られるように、大阪自閉症協会は、実施しましたアンケート結果を大阪府、大阪市、堺市へ持参して、自閉症の子ども本人、保護者に対して、十分な、療育、相談、情報提供ができる体制を整備するよう要望し続けていきます。

《自閉症児の今後療育を充実させる実態調査結果》

平成 23 年 11 月 1 日現在の正会員 128 人にアンケートを依頼して、60 名(46%)から返答がありました。

- 回答者 父 6 人 母 52 人 その他 2 人
- 子どもの性別 男 48 人 女 12 人
- 年齢 0 歳～9 歳／2 人 10 代／45 人 20 代／11 人 30 代／1 人 40 代／1 人
- 居住地 大阪府 34 人 大阪市 23 人 堺市 3 人
- 手帳 療育手帳 50 人 精神障害者手帳 7 人 返却 2 人 回答なし 1 人
- 現在の状況
 - 学校 幼稚園保育園 0 人 小学校 11 人 中学校 6 人 高校 3 人
専門学校 2 人 大学 1 人
特別支援学校 幼 0 人 小学部 1 人 中学部 7 人 高学部 10 人
 - 就業 一般 0 人 特例子会社 1 人
 - 通所施設 17 人
 - 在宅 1 人
- 療育 受けた 50 人（複数受けた 8 人）
受けていない 10 人
- 受けた方の療育の内容 TEACCH 41 人 遊戯療法 10 人 SST 2 人 OT 2 人 ST 1 人
抱っこ療育 1 人
- 療育を受けていない方は、療育を知っていましたか？
知っている 7 人 知らない 1 人 回答なし 2 人
- 機会があれば療育うけますか

受ける6人 受けない1人

大阪自閉症協会の動き I

9月25日(日)	自閉症関係親の会団体との意見交換会開催 (参加団体:オアシス)	(会長、副会長、役員3名)
10月1～2日(土日)	東京にて都道府県政令指定都市会議出席(※1)	(副会長、担当役員)
10月9日(日)	自閉症関係親の会団体との意見交換会開催 (参加団体:オアシス・ジョブサイトよど・チャイルズ・はぐくみ・ピュア・ファミリーユ)	(会長、副会長2名、担当役員・委員)
10月25日(火)	大阪府障がい者施策推進協議会出席	(副会長、担当役員)
10月30日(日)	和歌山にてNHKハートフォーラム出席	(副会長2名、担当役員、田川相談役)
10月31日(月)	大阪府障がい者支援体制整備検討委員会出席	(副会長、担当役員)
11月18日(金)	大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会出席	(副会長、担当役員)
11月28日(月)	大阪市発達障害者支援センター連絡協議会出席	(副会長、担当役員)
12月5日(月)	大阪市発達障がい者企画推進委員会出席	(副会長、担当役員)
12月6日(火)	大阪府発達障害者団体ネットワーク講演会出席	(副会長、担当役員)
12月10日(土)	NHKハートフォーラム出席	(副会長、担当役員)
12月21日(水)	大阪府発達障害者支援センター連絡協議会・成人の部出席	(副会長、担当役員)
1月9日(月)	大阪府発達障害者支援センター連絡協議会・子ども部会出席	(副会長、担当役員)
1月21日(土)	アクトおおさか講演会出席	(副会長、担当役員)
2月12日(日)	高機能ネットワーク会議出席	(会長、副会長2名、役員3名)
2月13日(月)	大阪府障がい者施策推進協議会出席(※2)	(副会長、担当役員)
2月24日(金)	大阪府発達障害者団体ネットワーク運営委員会出席	(副会長、担当役員)
3月1日(木)	大阪市発達障害者支援センター連絡協議会出席(※3)	(副会長、担当役員)
3月6日(火)	大阪市発達障がい者企画推進委員会出席	(副会長、担当役員)
3月10日(土)	エルムおおさか講演会出席	(副会長、担当役員)
3月10日(土)	JDDネット大阪会議出席予定	(副会長、担当役員)
3月28日(火)	大阪府発達障がい者支援体制整備検討委員会出席予定	(副会長、担当役員)

※1) 10月1～2日の都道府県政令指定都市会議についての報告

1日は、山崎会長から日本自閉症協会の方針、厚生労働省発達障害対策専門官小林真理子氏、文部科学省
初等中等教育局支援教育課特別支援教育調査官石塚謙二氏から行政の今後について講義がありました。
2日目は、災害地域からの体験談、グループワークで、協会の今度について話し合いました。

※2) 2月13日 大阪府障がい者施策推進協議会についての報告

議題 *第4次大阪府障がい者計画(案)について他
報告と意見交換しました。

※3) 3月1日 大阪市発達障害者企画推進委員会についての報告

議題 1、H23年度発達障害児療育支援事業実施状況について
2、H23年度発達障害者就業支援コーディネーター事業実施状況について
3、H23年度発達障害者巡回相談支援事業について
4、その他
報告と意見交換しました。

大阪自閉症協会の動きⅡ

NHKハートフォーラム～自閉症教育の今～特別支援教育の成果と課題～の報告

平成23年10月30日(日)和歌山東急インで、日本自閉症協会近畿ブロック後援NHKハートフォーラムが開かれました。大阪自閉症協会も役員参加しました。

「特別支援教育」は、本格的実施より今年度で5年目を迎えています。講師に、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター教授の田中康雄氏、富山大学保健管理センター准教授の西村優紀美氏、和歌山県立和歌山東高等学校教諭の上西祐子氏を迎え、またシンポジウムでは和歌山大学教育学部教授江田裕介氏司会で、自閉症・発達障害のある子どもたちへの理解とともに教育環境はどのように改善され、どのような成果が得られたのか。さらには、特別支援教育の階段を上ってきた子どもたちが、高校や大学等へ進学する中で特別支援教育に関する新たな課題についても一緒に学びました。

遠方にもかかわらず、参加された大阪自閉症協会会員もいらっしゃいました。お疲れさまでした。



高機能自閉症&アスペルガー症候群ネットワーク会議大阪の報告

2月12日大阪産業創造館にて日本自閉症協会主催で、高機能自閉症&アスペルガー症候群ネットワーク会議大阪が開催され、大阪自閉症協会はお手伝いとして役員6名参加しました。

この事業は、独立法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業でされていて、全国を9ブロックにわけ、近畿ブロックは、大阪自閉症協会がお手伝いすることになりました。

当日、午前中は、近畿の発達支援センター関係者、日本自閉症協会担当理事、事務局、近畿の協会役員が、情報交換しました。

午後からは、成人当事者の支援を考えるをテーマにNPO法人発達障害をもつ大人の会代表 広野ゆい氏を迎えました。114名会場定員満席で、会員以外の方にニーズが高いことがわかりました。

広野氏の講話の後、シンポジウムをおこないました。シンポジストは、広野ゆい氏、当事者、大阪市発達障害支援センター長市村健二氏、日本自閉症協会理事江口寧子氏、日本自閉症協会理事岡田稔久氏、司会を日本自閉症協会副会長新保文彦氏でされました。

当事者の貴重なお話を聞けて、当事者からみた親、家族の環境を教えていただき勉強になりました。



日本自閉症協会 第27回通常総会の報告

社団法人日本自閉症協会第27回通常総会に代議員として参加して

平成24年3月18日こどもの城で通常総会が開催されました。

山崎会長の挨拶の中で、「昨年10月に委員会を構成する委員の委嘱を行い、新たに推進すべき事項などに対処し得るように整備したところである。特に総務委員会、教育に関する委員会、共済事業に問題点がある。具体的な提案を考えて、次回にご提案したい。」と言われました。

議長 長崎県自閉症協会代議員金城氏を選出して、議案を検討しました。

特に以下に記載しましたところは、課題が多く検討されました。

＊総務委員会は、会員拡大の有効な対策を検討し、提案する計画を立てています。

全国的に会員数が減り、大阪自閉症協会も毎年会員が減り続けているので、日本自閉症協会と連携を図り、抜本的な対策強化を検討しなければと思います。

＊教育に関する委員会

障害児教育のあり方や課題を検討し、国や政党、および議連に対して提言していきます。

教育行政施策などへ対応、関係機関(全国特別支援教育振興協議会、特別支援教育ネットワーク推進委員会)との連携を図ります。

大阪自閉症協会も、積極的に日本自閉症協会と連携を図ります。

＊共済事業

自閉症の人々が病気で入院したときに、入院給付金などを給付するための事業を今後も続けます。

大阪の会員も68名の方々が加入していただいています。

＊その他

①「世界自閉症デー」自閉症に関する社会一般への啓発をなお一層進めます。

②関係諸団体との連携

世界自閉症協会、全国自閉症者施設協議会、日本発達障害ネットワーク、日本障害者協議会、全国病弱、障害児の教育推進連合会、および全日本手をつなぐ育成会などの関係諸団体との連携を密にし、自閉症対策の一層の充実を図りたい。

特に本年度は、「障害者総合支援法」(仮称)の制定に向け平成24年の通常国会に法案提出され、25年8月までに施行されるとしており、この法案に対する協働連携を密にすることが必要となります。

③一般社団法人移行

平成25年度に新たな一般社団法人として事業推進を図る予定なので、平成24年度は臨時総会があります。

以上の事柄の他に理事代議員が活発に意見を述べ、反対、保留、賛成の挙手を取り、議案成立して、無事終了いたしました。(福田啓子)

東日本大震災における義援金について

大阪自閉症協会へ寄せられた義援金は、3,859,045円(平成23年3月3日現在)です。

大阪はじめ各県の自閉症協会への義援金は、日本自閉症協会としてまとめられ、被災地に送金されました。

送金	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	備考
第1期(平成23年4月送金(茨城のみ7月送金))	200万	200万	200万	100万	
第2期(平成23年10月6日送金済)	200万	200万	200万	100万	

なお本件義援金は、3月末日までとして締めくくり、残金は4月中に送金する予定です。

ご協力ありがとうございました。

おやじの会

★9月度 おやじの会 開催

9月17日(土)午後6時から、十三のジョブサイトよどにて、おやじの会を開催しました。

大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシスと共催で、ライフサポート協会の太田勝己氏を講師に、「お父さんのための自閉症講座」というテーマで実施され、12名の参加がありました。



①自閉症とはどういう障害なのか、②どう関わればよいのか、③問題行動の対処について、④父親としてできることについて、お話いただきました。特に問題行動では「性」についての話もあり、女性がいると質問しにくいような話も率直にできて、おやじの会ならではの有意義な勉強会となりました。

1時間半の講座はあっという間で、有志による二次会も大いに盛り上がりました。

★11月度 おやじの会 開催

11月6日に、オアシスおやじの会と共催で、恒例の丹波篠山にてバーベキュー大会を開催しました。



当日、篠山溪谷の森公園はあいにくの小雨のぱらつく天気でしたが、会場は屋根つきなので何の問題もなく、参加7家族は楽しく過ごすことができました。

年に一度の親子参加のイベントでもあり、再会した子どもたちの成長ぶりに驚き、わが子の成長も改めて感じる良い機会にもなりました。

ゲームや景品提供で子どもたちを楽しませてくれた山本さん、会場手配から炭火着火実演指導までしてくださったアウトドアの達人伊藤さんなど、お世話になった皆さま、ありがとうございました。

★小冊子「お父さんのための自閉症講座」作成、配布

9月度おやじの会のライフサポート協会太田勝己氏の講座内容を「お父さんのための自閉症講座」として小冊子にまとめました。

今回のつなぐ3月号に同封していますので、ぜひお読みください。

映画紹介「ちづる」

12月4日、淀川区十三の第七芸術劇場で、映画「ちづる」を役員2名観てきました。

この映画は、立教大学の学生赤崎正和氏が、卒業制作として重度の知的障害と自閉症を持つ20歳の妹「ちづる」さんにカメラを向けたドキュメンタリーです。

当日、会場に赤崎正和監督の舞台挨拶があり、自閉症の妹と母親の自然な生活を撮影するなか、自分の気持ちも自閉症に対する気持ちが変わったと言われていました。自閉症の啓発になる作品でした。

上映は終了してしまいましたが、自主上映などの機会があれば、ぜひご覧ください。

書籍の紹介

大阪自閉症協会では書籍は取り扱っておりません。

「私たち、発達障害と生きています ―出会い、そして再生へ」 ぶどう社 1785 円(税込)

高森明, 木下千紗子, 南雲明彦, 高橋今日子, 橙山緑, 片岡麻実, 鈴木大知, アハメッド 敦子 (著)

〈著者より〉この本は、高機能自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、LD、ディスレクシアなど、さまざまな発達障害を持つ、8 人の成人の当事者がつくりました。この本が、当事者のあなたに届き、ささやかでも再生へと向かう手がかりになれば、何よりうれしいです。また、ご家族の方や支援者の方には、より良い支援のヒントになれば、幸いです。

著者の一人、アハメッド敦子氏は、大阪自閉症協会の正会員です。

事務局より

★大阪自閉症協会では、会員の電話相談を行っています。☎06-4862-4144☎

相談は事前予約制で、相談にお答えするのは自閉症児者を育てる先輩保護者となります。

相談料金は無料で、随時受けつけています。

なお、個人宅のため電話は9時～21時でお願いいたします。

事務所は無人で転送電話になっておりますが、万一つながらない場合は申し訳ありませんが、もう一度おかけいただくか、ファックスを利用していただけると助かります。

なお、非通知番号でおかけいただいた場合はお受けできませんので、ご了承ください。

★相談の流れ★

①事前予約を大阪自閉症協会(☎06-4862-4144)にして下さい。

(1) 相談者のお名前と、電話番号を必ずお伝えください。

(2) 相談の担当者を決めるため、簡単な相談内容をお伝え下さい。

②後日、相談担当者からお電話します



★ココセコムの利用を検討される方は、協会からお申し込みください。

ココセコムを携帯している方の位置をお客様にお知らせします。さらに、お客様のご要請に基づき、セコムの緊急対処員が急行し、大切な方の探索、安全確保に努め、お客様に安心をご提供します。

■ご契約時に必要な費用 加入料金：5,000 円 付属品 (充電器)：2,000 円、または、5,900 円

■継続的な費用 基本料金：500 円/月 (ココセコム本体のレンタル料金が含まれます。)

■ご利用ごとに発生する費用 位置情報提供料金：オペレーター応答 200 円/回

：インターネット検索 100 円/回 (毎月 2 回まで無料)

現場急行料金：10,000 円/回 (表示金額は全て税別です。)

ー以上、ココセコムのパンフレットから抜粋ー

※ 問い合わせ、申し込みは大阪自閉症協会へ

★事務局の電話について



事務所は無人ですので、電話は役員の自宅へ転送されます。留守番電話による対応に主になりますので、出来るだけファックスで連絡をいただけますようお願いいたします。なお問い合わせなどこちらから返答をする必要のあるものについては、お名前とお電話番号を忘れずをお願いいたします

★★★★★★「つなぐ」の印刷、袋詰め、発送作業は、「ジョブサイトよど」に依頼しています。★★★★★★